

1999年度 博士論文題目一覧

	研究領域	氏名	論文題目
課程内	社会科学・環境科学	栗山 孝雄	好中球貪食能・活性酸素産生能を中心とした生体内諸機能に及ぼす自発運動やストレスの影響に関する研究
課程内	社会科学・環境科学	矢野 晋吾	村落社会と「出稼ぎ」労働の社会学的研究 —諏訪地域の酒造労働と村・家・個人—
課程内	生命科学	佐藤 元康	雌性行動神経制御機構における卵巣ホルモンの作用機序
課程内	生命科学	塩塚 政孝	骨格筋の発生におけるアクチビン／フォリスタチン系の役割に関する研究
課程内	生命科学	堀口 和秀	カハールの介在細胞の微細形態学的同定
課程内	生命科学	武笠 毅	筋肉および神経の変性疾患の細胞死におけるカスパーゼの活性化に関する研究
課程内	行動科学・臨床心理学	石川 真	コンピュータ通信を利用した学習環境のヒューマンインタフェースの検討
課程内	行動科学・臨床心理学	鈴木 伸一	ストレスへの認知的評価と対処行動の相互作用が心理・生理的反応に及ぼす影響
課程内	行動科学・臨床心理学	平田 乃美	子供の問題行動と学校環境認知
課程内	行動科学・臨床心理学	三浦 正江	中学生の学校生活における心理的ストレスに関する研究
課程内	スポーツ科学	石井 信輝	スポーツ指導の効果的な実践に関する研究
課程外		川村 匡由	地域福祉計画論(地域福祉の計画的な推進のための実証的研究)
課程外		嵯峨座 晴夫	人口高齢化と高齢者の生活に関する研究
課程外		伊賀 光屋	産地の社会学
課程外		松本 明	フランスにおけるアンセルシオン政策の現代的意義 —雇用・教育および福祉の横断的連携に関する一考察—
課程外		山田 一之	ボンベシン様神経ペプチドの行動調節機能に関する研究
課程外		橘 敏明	ラットを用いたオープン・フィールド・テストの研究
課程外		福井 至	抑うつと不安の関係を説明する認知行動モデルの構築と検証
課程外		平岡 浩一	頸部・上肢への機械刺激が四肢運動ニューロン興奮性に及ぼす影響